地域貢献策のについて ~ 北海道寿都町の事例~

1

地域貢献策



寿都町紹介

位 置

・ 北海道南西部にあり、函館と小樽を結ぶ海岸線のほぼ中央に位置しています。 人口は約4千人。

寿都湾の海岸線32kmは弓状に張り、島牧村、蘭越町、黒松内町と接しています。



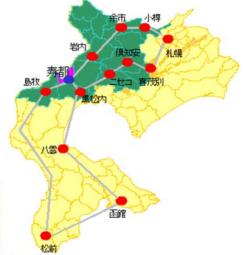
特產品

寿都湾から獲れた新鮮なしらすを生のまま炊き上げた「生炊きしらす」、6月からが旬の「寿かき」。また、秋から冬にかけては「ほっけの飯寿し」など、水産物、水産加工品など海の幸が特産品となっています。









20101209 北海道寿都町 出典:「寿都町における風力発電への取り組み~夢をのせて 私たちの風力エネルギー~」(2012年、北海道寿都町)



風力発電所の位置



出典:「寿都町における風力発電への取り組み~夢をのせて 私たちの風力エネルギー~」(2013年、北海道大学)

地域貢献策



寿都町風力発電設備導入経緯



16.5kw×5基 第1期

「寿都発電所」 平成元年:運

転開始

平成18年:

廃止



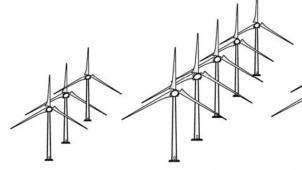
230kw×1基 第2期

「寿都温泉ゆべ 「寿の都風力 つのゆ風力発

電所」

平成11年:

運転開始



600kw×3基

第3期

発電所」

平成15年: 運転開始

1990kw×5基

第4期

「風太風力発 電所」

平成19年:

運転開始

2300kw×2基

第5期

「風太風力発 電所 増設」

平成23年:

運転開始



風力発電への取組方針

風を生かしたまちづくりの展開

一人ひとりの地球にやさしい暮らしの展開

エネルギー資源の有効利用の展開

<海づくり>

磯焼け対策:

藻揚造成技術の実証実験

<山づくり> 森林保全活動 (植林・植樹活動) 環境維持活動



<街づくり> 寿都診療所運営資金 医学部進学の奨学金 通学費補助 (運行バス会社への補助) 街灯電気代補助

20101209

北海道寿都町

出典:「寿都町における風力発電への取り組み~夢をのせて 私たちの風力エネルギー~」(2012年、北海道寿都町)

地域貢献策



売電利益の活用

売電益(売電収入-維持管理経費) 約370,200千円(H25予算)



-



産業振興

- ·施肥対策事業
- ·密漁対策補助
- ·観光誘致宣伝事業等

約33,700千円

他会計繰り出金

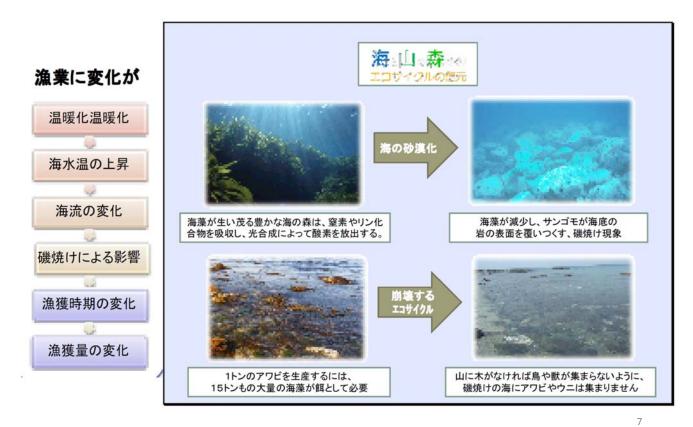
- ·診療所運営費
- •他会計繰り出金
- ·基金積立金等

約294,300千円

町民還元

- ・プレミアム商品券
- ・水道料の軽減対策 等

約42, 200千円



出典:「海と山の森づくり:エコサイクルの復元」(北海道森林管理局)

地域貢献策



出典:「海と山の森づくり:エコサイクルの復元」(北海道森林管理局)

出典:「海と山の森づくり:エコサイクルの復元」(北海道森林管理局)

地域貢献策



10

「森は海の恋人」 i n寿都 カキを育てる森づくり 畠山重篤



出典:「風と海と森のまちづくり」(北海道森林管理局)





出典:「風をエネルギーに~地球にやさしいマチを目指して~」(第32回第V-②分科会 温暖化防止とクリーンエネルギー)

11

地域貢献策



発電所建設前後の対応と結果

建設前後の対応方針

- 1)発生する事象はきちんと示す。 (迷惑をかける可能性があるものは明確に提示する)
- 2)調査結果を元に障害が起こる可能性を示す。 可能性が少ないことをデータで裏づける。
- 3)障害が出たときの対応策を示す。

騒音に関しては

- 1)風車の周辺では音は聞こえる。それは我慢してほしい。 (パークゴルフ場で遊ぶ場合は気になる可能性がある)
- 2) 最寄で約900m離れているので、十分環境基準を満たしている。 最大で48dB(合成後)、風車による増加分は最大で2dB。大きな変化はない。
- 3) 万が一屋内での問題が起きた場合は対策を行う。 Ex. 窓の二重化や風車の回転数を落として運転する。

建設結果: 住民からの苦情なし

20101209

北海道寿都町



事後調査および住民説明会

	設置前	工事中	設置後
騒音問題	事前に作業内容 /評価を説明	低騒音型の重機を使用すると 同時に、周辺民家でのヒアリン グを実施	実施
電波障害	事前に作業内容 /評価を説明	風車建設期間中変化が現れた ら連絡を頂けるように依頼を実 施	実施
住民説明	実施	_	実施



工事中の住民対応も実施

•電波障害対応

事前調査結果、シミュレーションでは問題ない結果が得られていたが、住民の不安を除く ため、工事期間中であっても異常があれば連絡を頂ける体制を構築。



工事期間中に障害の連絡があり、タワー、ブレードの影響が懸念されたが、調査結 果、工事用クレーンによるものと判明。工事期間中の協力をお願いした。

出典:「寿都町における風力発電への取り組み~夢をのせて 私たちの風力エネルギー~」(2012年、北海道寿都町)

地域貢献策



寿都町における住民対応のまとめ

建設前後の住民対応

- 1)発生する事象はきちんと示す。 (迷惑をかける可能性があるものは明確に提示する)
- 2)調査結果を元に障害が起こる可能性を示す。 可能性が少ないことをデータで裏づける。
- 3) 障害が出たときの対応策を示す。

建設中の住民対応

- 1)発生可能性のある事象については建設中から留意して、近隣住民への ヒアリングを行う。
- 2)問題点が生じたときはすぐに対応を行う。

住民対応の基本は真摯な態度と合意形成のコミュニケーション

出典:「寿都町における風力発電への取り組み~夢をのせて 私たちの風力エネルギー~」(2012年、北海道寿都町)

地域貢献策の紹介について ~漁業協調策~

15

地域貢献策

漁業協調のメニュー例

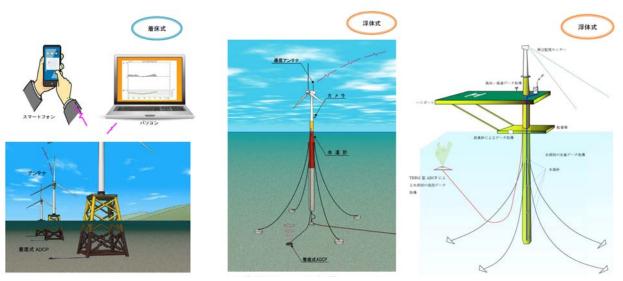
	沿岸	沿岸	沿岸~沖合	沿岸~沖合	沿岸~沖合	沿岸~沖合	沖合	
漁法	定置網	養殖	刺網	巻網	曳網	釣り漁業	敷網	
X=2-			Signal and a signa	STREET, STREET		The state of the s	**	
1. リアルタイムでの海沢情報の提供	0	0	0	0	0	0	0	
2. 風車基礎部の人工魚碟化利用 2-1. 資源保護育成目的 2-2. 周辺での漁業操業目的	0	ı	0	0	0	0	0	
3. 魚介類・藻類の養殖施設の併設	-	0	3.—3		1. —	1	1 -	
4. 漁業現場への電力供給	0	0	19-	1.—	1	1	1	
5. レジャー施設の併用 5-1. 海釣り公園 5-2. ダイビングスポット	漁業者の事業参加(漁船の活用)							
6. 漁業者の事業参加 6-1. 洋上発電施設の関連調査、 建設・保守点検における漁船利用 6-2. 洋上発電事業への出資・参画	漁業者の事業参加 (漁船の活用)							

出典:「洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する提言(第2版)」(一般社団法人海洋産業研究会、平成27年6月)

地域貢献策:海況情報の提供

【概要】

- ・水温、流向・流速、波高等の実測データを公開
- ・スマートフォン等で公開データを利用し、漁具投入位置等に役立てる



出典:「洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する提言(第2版)」(一般社団法人海洋産業研究会、平成27年6月)

17

地域貢献策:レジャー施設の併用

【概要】

- ・資源保護型はウィンドファーム内を漁業操業制限区域に設定し、資源培養効果の向上を図る。
- ・漁業操業型は基礎部や周辺に集魚効果のある部材を配置、浮体式洋上風車は浮漁礁としての効果を持つことで、蝟集による漁獲量の増加を図る





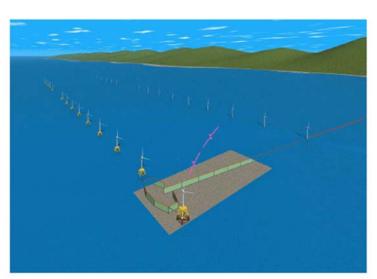
18

出典:「洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する提言(第2版)」(一般社団法人海洋産業研究会、平成27年6月)

地域貢献策:風車基礎部の人工漁礁化利用

【概要】

・洋上風力発電所を電力供給プラットフォームとして、活用しセンサーやビデオカメラを設置することで、箱網内の魚群の入網状況を陸上へ送り、漁業の効率化を図る。



出典:「洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する提言(第2版)」(一般社団法人海洋産業研究会、平成27年6月)

19

着床式

地域貢献策:レジャー施設、ダイビングスポットとしての活用

【概要】

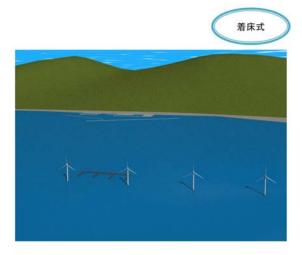
- ・着床式風車群の設置海域を、遊漁を行う海域とする。
- ・同海域に洋上デッキを併設し海釣り公園を整備 することも考えられる
- ・海洋景観を楽しむ遊覧船や、沿岸部に設置した展望台等により観光・レクリエーション利用を行う。
- ・着床式風車群の設置海域を海中景観を楽しむ場として利用する。

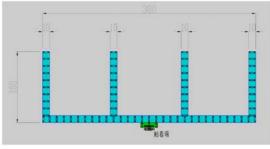




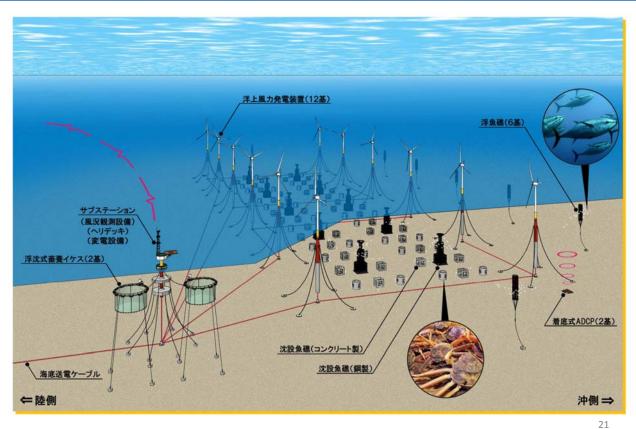


海釣り公園の整備例



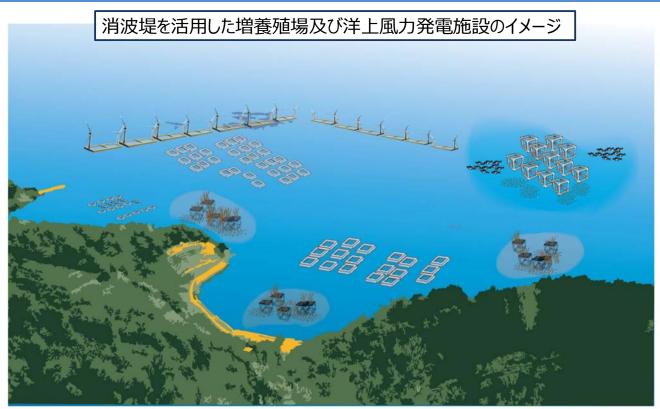


出典:「洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する提言(第2版)」(一般社団法人海洋産業研究会、平成27年6月)



出典:「洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する提言(第2版)」(一般社団法人海洋産業研究会、平成27年6月)

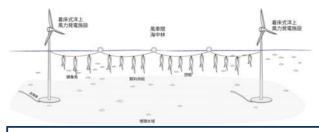
地域貢献策:



出典:「洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する提言(第2版)」(一般社団法人海洋産業研究会、平成27年6月)

風車を境界線上に配置した 保護増殖場のイメージ





風車を活用した海中林のイメージ

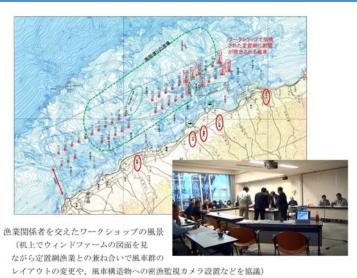
- 保護増殖場の境界線を風車で明確化
- →風車支柱間を明確化するとともに、海中林 の造成も考えられる
- ・地域の景観や保護意識の向上を促進し、観光資源につながる。
- ・未利用漁場に整備した場合、成果がそのまま資源の嵩上げになる。

出典:「洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する提言(第2版)」(一般社団法人海洋産業研究会、平成27年6月)

23

地域貢献策:岩手県洋野町での取組み





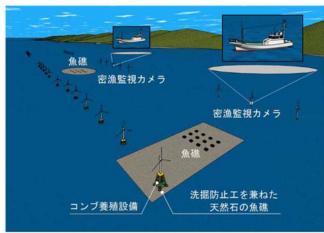
出典:「洋上風力発電等の漁業協調の在り方に関する提言(第2版)」(一般社団法人海洋産業研究会、平成27年6月)

- ・2012年度より「いわて沿岸北部海洋再生可能エネルギー研究会」が開催
- ・その一環として、海洋産業研究会が漁業協調型洋上ウィンドファームのケーススタディとしてワークショップを3回開催
- ・第一回:海洋産業研究会の漁業協調メニューを示し、漁業者のニーズを抽出、洋野町風車レイアウト案を示し、風車の漁業操業への影響について意見を聴取
- ・第二回:洋野町沖漁業協調型洋上ウィンドファームの素案について意見交換

第三回:最終案の提示

24

地域貢献策:岩手県洋野町での取組み



岩手県洋野町における 漁業協調メニューに対する洋野町のニーズ

メニュー (略記)	洋野町のニーズ	漁業者コメント等				
1. リアルタイム情報	0	波高のデータに対する要望あり。漁業者から密漁監視 カメラの提案。				
2-1. 魚礁/資源保護	0	ナマコの幼生が留まるような魚礁が有用。				
2-2. 魚礁/漁業操業	0	ホヤが付きやすいような基質 (天然石など) が有用。				
3. 養殖施設の併設	0	ウニの餌用の藻類養殖。				
4. 定置網等の併設	×	定置網漁業者は風車設置を望んでいない。				
5-1. 海釣り公園	?	(コメントなし)				
5-2. ダイビングスボット	×	当該地域はアワビ・ウニの生産地であり、漁業者以外のダイバーは敬適される。				
6-1. 以疗漁船利用	0	どのような頻度でどのような装備が必要か。				
6-2. 出資·参画	?	(コメントなし)				

洋野町沖漁業協調型ウィンドファームのイメージ

- ・密漁監視カメラの設置
- →三陸海岸ではアワビやウニの密漁が深刻化。漁業者より、監視カメラ設置に対する提案有り
- ・発電施設の人工漁礁化
- →三陸沿岸で重要な水産資源となっているホヤ・ナマコ資源の増殖に向けた人工漁礁の設置イメージ提示
- ・ウニやアワビの餌料用のコンブの養殖
- →ジャケット式の風力発電所基礎部を利用した、コンブ養殖の提示。(コンブは重要な磯根資源であるアワビやウニの餌料となる。)